

事業名 国際理解講座「フランスセミナー～ライフスタイルから知るフランス」

目的 中地区公民館では地域のコミュニティーの形成（特に地域の若い世代や勤労者と地域住民のコミュニティー）を目的に、平成17年度より国際理解講座を実施している。今年は日仏150周年であり、新潟市とナント市との姉妹都市提携を予定していることから、フランスを取りあげた。特に、フランスの暮らし方、仕事と家庭、老後の暮らしなど、我々が今まさに直面している問題と比較することで、身近な視点から理解を深めていったうえ、フランス人や受講生同士が直接話し合うことによって、理解を深め合うことの大切さを認識してもらう事を目的としている。

実施主体 新潟市中地区公民館

参加対象 成人

参加者数 男性 12人 女性 44人 計 56人 延べ 198人

回数 5回 **日数** 5日 **時間** 10時間

場所 新潟市下山コミュニティハウス

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	9月10日(水) 19:00～21:00	フランスのスローフード ～フランスで出逢った料理	料理研究家 中島 有香 (聞き手:新潟フランス協会 理事 白井 ゆみ)
	内容 方法	料理研究家の中島氏が料理の勉強のためにフランス・パリへ行くまでの経緯や留学中のエピソード、フランスの家庭料理やスローフードの概念について、対話形式で実施した。	
2	9月17日(水) 19:00～21:00	フランス風セカンドライフの楽しみ方 ～福祉国家フランスの社会	新潟大学法学部 教授 加藤 智章
	内容 方法	フランスの人口構成・労働環境・税制等を概観した後、社会保障の歴史や制度の特徴について、日本と比較しながら、その長所や問題点について論じた。(講演・質疑)	
3	9月24日(水) 19:00～21:00	働くママに優しい国 ～フランスにおけるワーク・ライフ・バランス	新潟大学人文学部 非常勤講師 Chloe Viatte Hemmi
	内容 方法	ヨーロッパの出生率を誇るフランスの少子化対策、ワーク・ライフ・バランス、家族観等についての現状と実態について論じ、フランスの価値観について日本と比較しながら理解を深めた。(講演・質疑)	
4	10月1日(水) 19:00～21:00	暮らしの中のことば・文化 ～ナント・ステイとフランス語学習	e-cor フランス語コミュニケーション教室 主宰 酒井 麻里
	内容 方法	ナント大学での留学生活や語学の上達法のポイントのほか、フランス語のルーツ、ナント市の写真・音・映画の紹介もあり、様々な媒体を使ってテンポよく話術巧みに進められた。(講演・質疑)	
5	10月8日(水) 19:00～21:00	みんなで「フランス」トーキング ～留学生を囲んでフランスについて語り合しましょう	新潟大学フランス人留学生・在新潟フランス人・国際交流員ほか
	内容 方法	フランス人留学生と受講生同士がお茶を飲みながらの座談会。当公民館の国際理解講座では必ず設けているテーマであるが、毎回好評となっている。(座談会)	

- 成 果**
- ・ アンケート結果では、「フランス」という大テーマではなく、更にポイントを絞って私たちに身近なテーマでありながら、新しい視点から考え直すことができるようにしたこと、講師の組み合わせやバランスがとれていたことに満足感が得られたようである。
 - ・ 最終回、受講生の中からフランス語を学びたいという声が上がリ、第4回目の講師にお願いして、番外編を実施した。またその中から、フランス語を通して、表現方法やフランス文化を更に続けて学びたいというメンバーで「楽しく学ぶフランス語」というグループが結成した。

- 課 題**
- ・ フランス関係の知り合いがほとんどいなかったため、講師の選定とアポイントに苦勞し、準備に3ヶ月ほどかかった。また、新潟市在住のフランス人が少数であったこと、夏休み（バカンス）中は留学生や講師と連絡が取れなかったこと、大学にいるフランス人留学生（3人のみ）の交換留学の交代時期で、担当教授を介して来日したばかりの3人（来日1週間たらず）に何とか参加してもらうなど、最後まで気が抜けない事業であった。
 - ・ 毎年度受講し、応援して下さるリピーターが続々と増えていく中ではあるが、予算の削減に伴い、今年度で終了することとなったのが大変残念である。

問合せ先 新潟市中地区公民館 新潟市東区古川町 4-12 （担当:伊賀） TEL : 025-250-2910